

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 埼玉県秩父市

本事業の担当部局名 総合政策部総合政策課

事業メニュー	結婚・妊娠・子育ての相談機会提供・支援プログラム							
区分	都道府県主導型市町村連携コース							
関連事業メニュー	4.2 結婚・妊娠・子育ての相談機会提供・支援プログラム(都道府県主導型市町村連携コース)							
個別事業名	秩父市結婚新生活支援事業(結婚・妊娠・子育ての相談機会提供・支援プログラム)			新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続			
実施期間	令和8年4月1日	～	令和9年3月31日	事業開始年度	令和3年度			
総事業費(A)(円)	11,400,000	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	11,400,000			
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	11,400,000							
費用内訳(円)	個別事業の内容のとおり							
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 過年度に引き続き、婚姻件数や婚姻率、合計特殊出生率の低下に歯止めをかけるべく、男女の出会いの機会を提供することを目的とした婚活イベントの実施や、結婚に対する意識向上を目的としたセミナーの実施を継続し、県の結婚支援センターである恋たまへの登録促進を行う。 また、結婚・妊娠・子育ての相談機会提供・支援プログラムを実施し、結婚を希望する男女への補助金交付を行うことで、結婚に伴う費用に関する経済的な不安を解消する。</p> <p><本個別事業の位置付け> 結婚・妊娠・子育ての相談機会提供・支援プログラムを実施し、経済的不安から結婚に踏み切れない層に対して補助を行うもの。</p>							
個別事業の内容	1. 概要							
	【対象費用】							
	<input type="radio"/>	住宅取得費用	<input type="radio"/>	住宅リフォーム費用	<input type="radio"/>	住宅賃借費用	<input type="radio"/>	引越費用
	【補助対象要件】 原則として国基準とし、自治体独自基準による場合は当該欄に記載							
	所得要件	国基準	夫婦の合計所得が500万円未満					
		自治体独自基準						
	年齢要件	国基準	夫婦ともに婚姻日における年齢が39歳以下の世帯					
		自治体独自基準						
	【補助上限額】 原則として国基準とし、自治体独自基準による場合は当該欄に記載							
	29歳以下の場合	国基準	各費用に係る合計が60万円					
自治体独自基準								
39歳以下の場合	国基準	各費用に係る合計が30万円						
	自治体独自基準							
【その他独自要件】								

2. 申請見込

①新規世帯見込	20		世帯
上記のうち	ともに29歳以下	11	世帯
	その他	9	世帯

②継続補助世帯見込	8	世帯
(継続補助規定の有無)	有	

【世帯数積算根拠】

○29歳以下の支給見込世帯数=①153件×②39.71%×④81.21%≒50件
 ○直近2年間の「補助実績件数/見込件数」の平均(22.5%)を乗じる
 50件×22.5%≒11世帯
 ○30～39歳以下の支給見込世帯数=①153件×③38.83%×⑤41.69%≒25件
 ○直近2年間の「補助実績件数/見込件数」の平均(36.9%)を乗じる
 25件×36.9%≒9世帯

- ・令和6年度秩父市年間婚姻件数①153件
- ・「2024年人口動態統計」2024年に結婚生活に入った夫婦共に
- ②29歳以下の世帯割合:39.71%
- ③30～39歳以下の世帯割合:38.83%
- ・「2024年国民生活基礎調査」2024年世帯主の年齢別、世帯所得割合
- ④29歳以下の世帯総数のうち、世帯所得が500万円未満の世帯の割合:81.21%
- ⑤30～39歳以下の世帯総数のうち、世帯所得が500万円未満の世帯の割合:41.69%

(参考)

【令和7年度申請状況】	実施中	
申請世帯数見込	29	世帯
～12月(実績)	15	世帯
1月～3月(見込)	14	世帯

【金額積算根拠】

<上限額>				<左記の上限額の合計を使用しない場合の積算>				
(29歳以下)	11	世帯	×	600,000	円	=	6,600,000	円
(その他)	9	世帯	×	300,000	円	=	2,700,000	円
				(継続補助)			2,100,000	円
				合計			11,400,000	円

3. 広報の実施予定

市の公式LINEなどSNSで周知する。地域の結婚相談所や不動産会社、結婚式場等に対し、チラシの配架、配布を依頼し、幅広く市民へ情報を提供する。

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	合計特殊出生率				1.5 (R10年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			0.96 (R6年)	
	婚姻件数		件	153 (R6年)	
	婚姻率			2.7 (R6年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	支給世帯実績/支給見込世帯数の割合	%	95 (R8)	92 (R6)
		(アウトカム)			
①	結婚・妊娠・子育ての相談機会提供・支援プログラムに関するアンケートにおける「本事業の認知度」	%	65 (R8)	52 (R6)	
②	結婚・妊娠・子育ての相談機会提供・支援プログラムに関するアンケートにおける「地域に応援されていると感じた世帯の割合」	%	100 (R8)	96 (R6)	